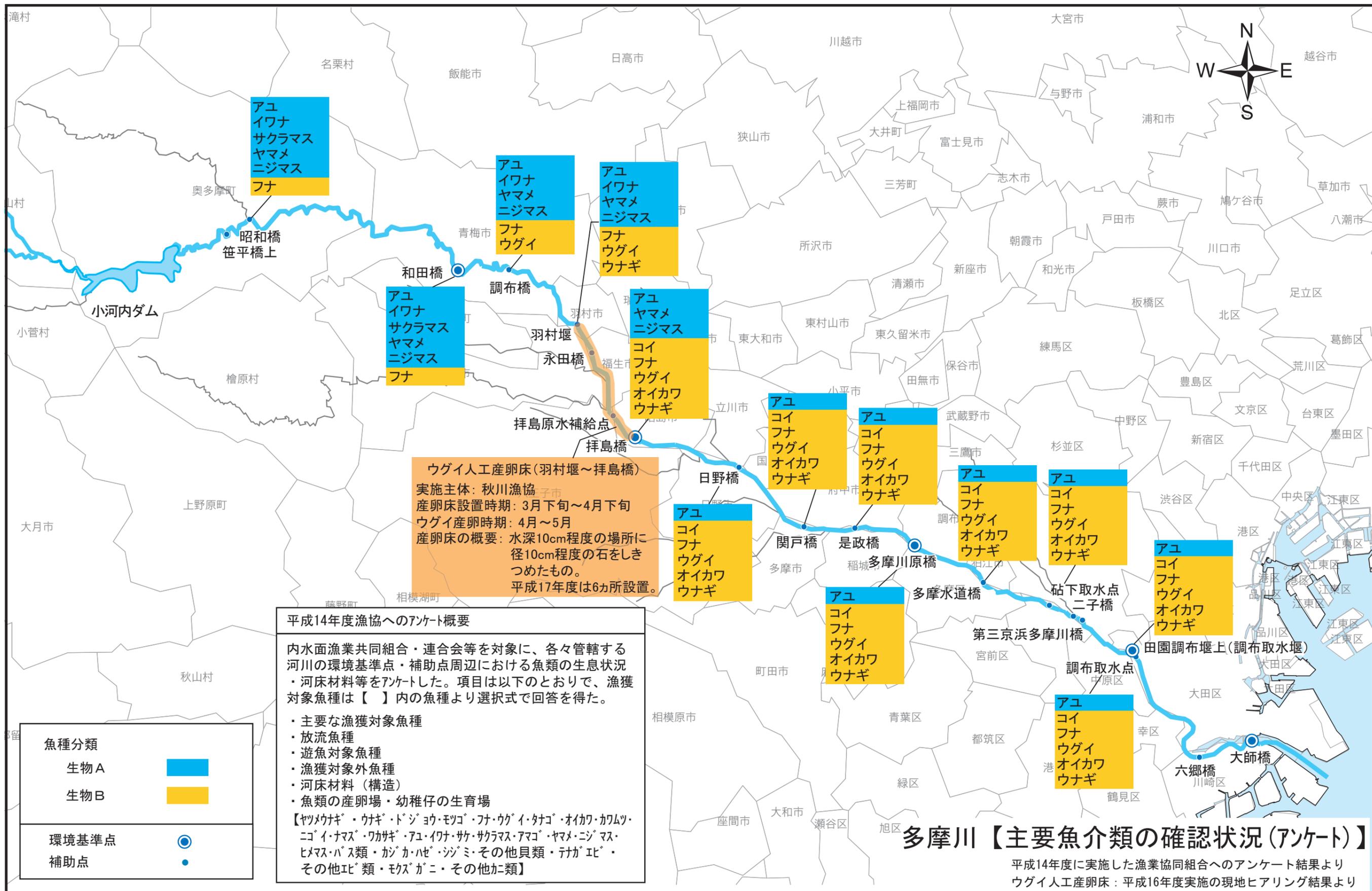


多摩川魚介類出現状況(3 / 3)

項目・分類・科・種名		調査地点																										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
対象外	魚類	ハゼ科	ウキゴリ(Gymnogobius)属の一種																									
		ハゼ科	ウロハゼ																									
		ハゼ科	シモフリシマハゼ																									
		ハゼ科	ジュズカケハゼ																									
		ハゼ科	トビハゼ																									
		ハゼ科	ヌマチチブ																									
		ハゼ科	ヒメハゼ																									
		ハゼ科	ピリンゴ																									
		ハゼ科	マサゴハゼ																									
		ハゼ科	マハゼ																									
		ヒイラギ科	ヒイラギ																									
		フサカサゴ科	クロソイ																									
		フサカサゴ科	メバル																									
		コチ科	コチ																									
		カレイ科	カレイ																									
	甲殻類	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ																									

分類体系は山溪カラー図鑑日本の淡水魚(山と溪谷社,1989)・学研生物図鑑魚類(学習研究社,1983)・新日本動物図鑑(中)(北隆館,1965)等を参考とした。

データの出典: 東京都、水生生物調査、2000年調査(1,2,8,13,17,19,24)
 調査機関・名称・年度 国土交通省、河川水辺の国勢調査、2001年度春・秋調査(3,4,6,7,9,11,12,14,15,16,20,21,25,26)
 ()内は調査地点 羽村市、河川生物調査、2003年5月・10月調査(5)
 日野市、河川生物調査、2003年7月調査(10)
 大田区、水生生物調査、2003年5月・7月・9月調査(18,22,23,27)



アユ
イワナ
サクラマス
ヤマメ
ニジマス
フナ

アユ
イワナ
ヤマメ
ニジマス
フナ
ウグイ

アユ
イワナ
ヤマメ
ニジマス
フナ
ウグイ
ウナギ

アユ
イワナ
サクラマス
ヤマメ
ニジマス
フナ

アユ
ヤマメ
ニジマス
コイ
フナ
ウグイ
オイカワ
ウナギ

アユ
コイ
フナ
ウグイ
オイカワ
ウナギ

ウグイ人工産卵床(羽村堰～拝島橋)
実施主体：秋川漁協
産卵床設置時期：3月下旬～4月下旬
ウグイ産卵時期：4月～5月
産卵床の概要：水深10cm程度の場所に
径10cm程度の石をしき
つめたもの。
平成17年度は6カ所設置。

平成14年度漁協へのアンケート概要

内水面漁業共同組合・連合会等を対象に、各々管轄する河川の水環境基準点・補助点周辺における魚類の生息状況・河床材料等をアンケートした。項目は以下のとおりで、漁獲対象魚種は【 】内の魚種より選択式で回答を得た。

- ・主要な漁獲対象魚種
- ・放流魚種
- ・遊魚対象魚種
- ・漁獲対象外魚種
- ・河床材料（構造）
- ・魚類の産卵場・幼稚子の生育場

【ヤツメナギ・ウナギ・ドジョウ・モツゴ・フナ・ウグイ・タイコ・オイカワ・カラムシ・コイ・ナマス・ワカサギ・アユ・イワナ・サケ・サクラマス・アマゴ・ヤマメ・ニジマス・ヒメマス・バス類・カジカ・ハセ・ジジミ・その他貝類・テナガエビ・その他ヒビ類・モズガニ・その他カニ類】

魚種分類

生物A

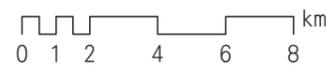
生物B

環境基準点

補助点

多摩川【主要魚介類の確認状況(アンケート)】

平成14年度に実施した漁業協同組合へのアンケート結果より
ウグイ人工産卵床：平成16年度実施の現地ヒアリング結果より





小河内漁協
 ニジマス
 ヤマメ
 イワナ
 ウグイ

秋川漁協
 アユ
 ニジマス
 ヤマメ
 ウグイ
 オイカワ
 コイ
 フナ
 ウナギ

多摩川漁協
 アユ
 コイ
 ウグイ
 オイカワ

多摩川漁協等
 アユ
 コイ
 フナ
 ウグイ
 オイカワ
 ウナギ

大田漁協等
 エムシ

丹波川漁協
 ヤマメ
 アユ
 ウグイ
 ニジマス
 イワナ
 ハヤ
 カジカ
 ウナギ
 モロコ
 ドジョウ

奥多摩漁協
 アユ
 ニジマス
 ヤマメ
 ウグイ
 コイ
 フナ
 ワカサギ
 イワナ

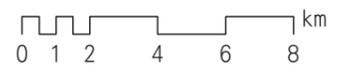
多摩川漁協等
 エムシ

環境基準点 
 補助点 

※漁業権は本流及び一部支流に各々設定されている。
 ここでは本流での設定状況を示した。

多摩川【漁業権設定状況】

東京都・神奈川県・山梨県資料より作成



多摩川の魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者への
ヒアリング結果の整理（案）

対象ゾーン	流域全般	下流	上流
魚介類の生息に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 「資料」の出現魚種で概ね妥当。 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線鉄橋下の砂礫域で少量のアユが一時的に生息し、遡上している。 	<ul style="list-style-type: none"> ウグイ・カジカ・アユ等が中心。 ウナギ・ヨシノボリ・シマドジョウが増加。 ニジマスは羽村堰より上流の本流で確認した。
再生産に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> アユの産卵場所がある。 アユ・ウグイ・カジカ等の産卵床保全等積極的な方向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> アユの産卵場所はいくつかあり、二子玉川上流域で良く産卵している（昭和 59-62 年調査で確認。今年度も二子玉川等にて産卵場所調査実施予定）した。 秋川漁協にてカジカ保全計画あり。 	<ul style="list-style-type: none"> アユは放流以外に今後産卵場等保全の取組み考える方向にある。 ウグイの人工産卵床を毎年本流に設置している（睦橋上流）。 平成 10 年度頃よりヤマメ発眼卵埋設放流実施している（氷川・奥多摩漁協等）。 今後はカジカ保全を考慮する。
放流に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 遊魚対象魚種*のほとんどが放流魚である。 		<ul style="list-style-type: none"> アユ・ヤマメ・ニジマス・コイ・フナを放流している。
河川環境に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> 近年、水質は良くなっている。 堰が多いため近年魚道整備が進んでいる。しかし、魚道利用・効果が今後の課題である。 堰、取水施設、下水処理場が魚類の生息環境に影響するものと考えられる。 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> アユは年々増加傾向にある（平成 14 年春には推定 100 万尾遡上）。 		

遊魚対象魚種*：アユ・ニジマス・ヤマメ・コイ・フナ・ウグイ・オイカワ・ウナギ

淡水域(多摩川)における魚類等生息状況の変遷

	年代							増減方向	増減の理由	場所
	1940	1950	1960	1970	1980	1990	1998			
アブラハヤ							→	増加	小河内ダム表面放流後(1992~)	奥多摩
アユ							→	成長良好	小河内ダム表面放流後(1994~)	奥多摩
ウグイ							→	増加	ダムによる流量安定(1993・1994~)	奥多摩・多摩川
オイカワ							→	増加	1995年~	多摩川
コイ						?	→	増加	放流による増加	秋川
タモロコ			→	→	→	→	→	増加(急増)	1962-1963年~	多摩川
マルタ							→	増加	近年回復傾向	多摩川
モツゴ			→	→	→	→	→	増加(急増)	1962-1963年~	多摩川
アメリカザリガニ			→	→	→	→	→	増加	汚濁し始めた頃~	多摩川
イトミミズ							→	増加	近年増加傾向	多摩川
ドロムシ?							→	増加	近年増加傾向	奥多摩
シロタニガワカゲロウ							→	増加	1993・1994~	多摩川
モエビ							→	増加	近年増加傾向	多摩川
モクズガニ							→	増加	近年増加傾向	多摩川
ユスリカ							→	増加	近年増加傾向	奥多摩
ウナギ			→	→	→	→	→	減少	ダム完成後ダム冷水影響、石の埋没(1957~)	奥多摩
カジカ			→	→	→	→	→	減少	石の埋没(1958~)	奥多摩・秋川
			→	→	→	→	→	減少	戦後は生息(1945~)	川口川・多摩川
カマツカ			→	→	→	→	→	減少	ダム完成後ダム冷水影響(1957~)	奥多摩
ギバチ			→	→	→	→	→	減少	ダム完成後ダム冷水影響、石の埋没(1957~)	奥多摩
シマドジョウ			→	→	→	→	→	減少	(1961~)	多摩川
タナゴ類			→	→	→	→	→	減少	戦後は生息(1945~)	川口川・奥多摩
ドジョウ						?	→	減少	護岸の泥減少	秋川
マス(サクラマス)						?	→	減少	護岸の泥減少	多摩川野毛・多摩川調布
ヤツメウナギ						?	→	減少		多摩川
カワムシ						?	→	減少	浮石の減少	奥多摩
シジミ			→	→	→	→	→	減少	戦後は生息(1945~)	川口川・多摩川
ヒゲナガカワトビケラ			→	→	→	→	→	減少	1963・1964~	多摩川

→ :増加
→ :減少

出典:東京の川の生きものと環境 - 河川水生生物総合解析調査報告書(その1) - (東京都,平成10年3月)より作成
 場所()奥多摩:多摩川羽村堰から上流
 多摩川:多摩川羽村堰から下流
 多摩川野毛:世田谷区野毛周辺、多摩川府中:府中市周辺
 多摩川八王子:王子市周辺、多摩川調布:調布市周辺
 河川が併記してあるもの:両方の河川を含んだ範囲

多摩川における出現魚種（過去の記録）

魚種	過去の記録				1973年10月～1974年11月の調査における出現魚種（捕獲魚）（は1974年度調査での追加分、支流は省略）																								
	1927-1935 羽村～丸子 (中村守純)	1957 多摩川 下流 (大島)	1972 羽村～六郷 (中村守純)	1974 府中 (梶川謙三)	昭和橋	川井堰上	〃 下	柳淵橋 (万年橋・調布橋の間)	多摩川橋堰及小作堰上 (羽村堰下)	永田橋 (羽村堰下)	拝島橋	多摩大橋	日野橋	関戸堰上	〃 下	大丸堰上	〃 下	多摩川原橋	二ヶ領上河原	二ヶ領宿河原	二子橋上	赤岩	丸子堰上	〃 下	ガス橋	多摩川大橋	六郷橋	大師橋	
淡水魚	ヤマメ																												
	アマゴ																												
	ニジマス																												
	ウグイ																												
	カジカ																												
	アユ																												
	オイカワ																												
	コクレン																												
	ハクレン																												
	ニゴイ																												
	コイ																												
	ゲンゴロウブナ																												
	キンブナ																												
	キンブナ																												
	キンギョ																												
	タモロコ																												
	モッコ																												
	シナイモツゴ																												
	タイリクバラタナゴ																												
	バラタナゴ																												
	シロヒレタビラ																												
	ヤリタナゴ																												
	アブラハヤ																												
	カワムツ																												
	ツチフキ																												
	カマツカ																												
	ハス																												
	ヒガイ																												
	ドジョウ																												
	シマドジョウ																												
	ボトケドジョウ																												
	スナヤツメ																												
	ウナギ																												
	ギバチ																												
	カムルチー																												
	ナマス																												
	ヨシノボリ																												
	ジュズカワハゼ																												
	ウキゴリ																												
	カダヤシ																												
	メダカ																												
	ワカサギ																												
小計	15種	20種	22種	18種	12(7)種				25(23)種										19(7)種										
汽水魚	マルタ																												
	ボラ																												
	ザッパ																												
	コノシロ																												
	スズキ																												
	チチブ																												
	アベハゼ																												
	マハゼ																												
	不明ハゼ																												
小計	1種	3種																	8(3)種										
総計	16種	23種	22種	18種					40(30)種																				

表注) * : 調査で確認できなかったが釣り師等の捕獲物より生息を確認できたもの
 1973(S48)年度調査：秋季(9-12月)、冬季(2-3月)、1974(S49)年度調査：春季(5-6月)、夏季-秋季(8-11月)
 小計及び総計の()内は48年度時点での種類数

出典：東京都水産試験場(1974)「多摩川の魚類生態調査」(建設省京浜工事事務所委託調査)
 東京都水産試験場(1975)「多摩川の魚類生態調査」(建設省京浜工事事務所委託調査) から一部改変

